

令和7年度 決算報告書

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位: 百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,731	4,975	244	(注1)
施設整備費補助金	975	924	△ 51	(注2)
補助金等収入	530	855	325	(注3)
自己収入	2,412	2,123	△ 290	
授業料、入学料及び検定料収入	2,310	1,984	△ 326	(注4)
雑収入	102	138	36	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	983	1,312	330	(注6)
引当金取崩	－	－	－	(注7)
目的積立金取崩	345	429	84	(注8)
引当特定資産取崩	－	－	－	(注9)
計	9,976	10,618	642	
支出				
業務費	7,489	7,218	△ 271	(注10)
教育研究経費	7,489	7,218	△ 271	
施設整備費	975	924	△ 51	(注11)
補助金等	530	772	242	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	983	1,355	372	(注13)
計	9,976	10,268	292	
収入－支出	－	350	350	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった教育・研究基盤維持経費が措置されたこと等により、予算額に比して決算額が244百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、一部を翌年度に繰り越したことにより、予算額に比して決算額が51百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、当初予定していなかった補助金の獲得により、予算額に比して決算額が325百万円多額となっています。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が335百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として当初予定していなかった授業料等減免費交付金による授業料、入学料免除の実施により、予算額に比して決算額が326百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として学校財産貸付の収入金額が増加したことにより、予算額に比して決算額が36百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が330百万円多額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、該当ありません。
- (注8) 目的積立金取崩については、当初計画の変更により、予算額に比して決算額が84百万円多額となっています。
- (注9) 引当特定資産取崩については、該当ありません。
- (注10) 業務費については、教育研究経費において経費の節減に努めたこと等に伴い、予算額に比して決算額が271百万円少額となっています。
- (注11) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が51百万円少額となっています。
- (注12) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が242百万円多額となっています。
- (注13) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が372百万円多額となっています。